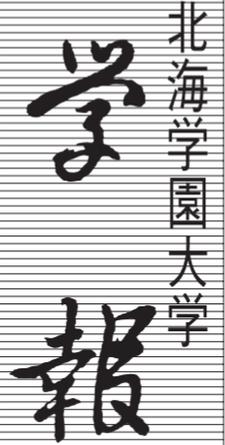


ミッション・ビジョン制定

「開拓者精神」「自立・自律」「共生・協働・共創」を中核的価値観として



北海学園大学学報
 発行・編集 北海学園大学
 札幌市豊平区旭町4丁目
 1番40号 〒062-8605
 ☎ 011(84)1161 FAX 011(824)3141
 https://www.hgu.jp/
 ✉ gakuho@tyhr.hokkai-s-u.ac.jp
 発行日(6月1日, 9月1日, 12月1日, 3月15日)
 購読料 1部80円 年間320円
 制作・印刷 株式会社人力社

大学を取り巻く環境が大きく変化している中、9月22日、建学の精神に基づいた大学の将来を展望する「ミッション・ビジョン」が制定された。

副学長(工学部教授) 魚住 純

2019年4月に学長室が開始。その第1回会議の冒頭で、安酸敏真学長は「大学を取り巻く環境が大きく変わろうとしており、本学もその影響を受けることになる。本学が大学として生き残るために必要なものを模索し、現実化するためにも、大学として中長期的なビジョンを検討していきたい。」と熱く語り、大学のビジョン作成が動き出しました。しかし、学長室で練り上げた「北海学園大学ビジョン2030」が学内の議論に供されたものの、文科省の要請により法人主導で策定された「大学の中・長期計画」が登壇し、ビジョンの議論は難航・停滞する事態に。

学長主導で大学の将来展望

2020年度に入ると、新型コロナウイルス対策本部の活動が最優先され、学長室会議の開催が困難に。その中、ビジョン担当として学長指名で学長室に加わった人文学部の郡司淳教授が、北海学園の歴史と建学の精神、大

主な記事

2面	新型コロナウイルス感染症防止対策
3面	工学部・小柳秀光教授「2050年カーボンニュートラル(CN)に向けて」
4面	北海学園大学研究助成事業報告⑨ 経済学部 水野邦彦教授
5面	研究室を訪ねて⑤ 経営学部 中村暁子講師
6面	学園人脈記第17回 3K代表(代表) グラフィックデザイナー 佐々木信氏
7面	社会科学特別講義「GIS現地調査入門」
8面	第70回 十月祭初のオンライン開催

北海学園大学ミッション・ビジョン

2021年9月22日制定

前文

北海学園大学の建学の精神である「開拓者精神」「開拓者精神」は、個人の幸福追求や民主主義の礎として普遍的な価値を有する。しかし、また、北海道の歴史と現実を前に批判的に継承されるべきものである。

すなわち、第一に「開拓者精神」を生み出した北海道開拓は、植民地支配と開発至上主義の潮流の下で、アイヌに対する土地収奪・同化政策と不可分に進められたこと、第二に「自主独立」の人間、すなわち明治期の私学が育成しようとした能動的市民とは、女性や障害者を排除したものであったこと、第三に「徒に官に依拠せず自らの努力をもて立つ」との自助論は、貧困が自己責任とされ、経済的に恵まれない人びとに対する生活保障・支援が国家・社会の責務とみなされていないことが時代の産物であること、などである。

ミッション

1952(昭和27)年創立の北海学園大学は、自主独立の「開拓者精神」を建学の精神とし、1985(明治18)年創立の北海道英語学校の系譜を引く北海道最古の私立総合大学として、次のような研究・教育の諸活動を通じ、人類の福祉と北海道・日本・世界の未来形成に寄与することを使命とする。

〔研究の目標〕
 本学は、「学問の自由」に基づき教員個人の自律的な研究活動を前提として、学生とともに真理を探究し、「新たな知」を創造すること、学問の発展に尽くす。さらに各学部・研究科および開発研究所を中心に、北海道をはじめとする現代社会の直面する諸課題の解決にあたり、もって人類の福祉に貢献する。

〔教育の目標〕
 本学は、建学以来重んじてきた「教育の機会均等」を



感染拡大防止対策を行い実施



各学部長から卒業証書・学位記が授与された

卒業証書・学位記授与

令和3年度9月期
 去る9月30日、ホテル札幌ガーデンパレスにおいて、令和3年度9月期卒業証書・学位記授与式が、新型コロナウイルス感染症対策のもと行われた。

学部から80名(経済学部21名・経営学部23名・法学部21名・人文学部11名・工学部4名)の卒業生を送り出した。

令和3年度9月期卒業生数

学部	学科	令和3年度9月期
経済	経済学科	5
	地域経済学科	1
	経済学	6
経営	経営学	9
	経営情報学	2
	経営学	5
法	法学	6
	政治学	1
	政治学	10
人文	政治学	4
	日本文学	1
	英米文化	1
工	日本文学	7
	英米文化	2
	英米文化	2
社会	環境工学科	1
	建築学	1
	電子情報工学科	1
生命	生命工学科	1
	1部計	26
	2部計	54
計		80

さらに推し進めるとともに、学生の自主性を最大限に尊重し、豊かな人間性を育む教育を追求する。その可能性の追求を支援する教育を行う。それによって、常に真理を探究する構えと専門の学知に支えられた高い道義性と知性を兼ね備えた自己のキャリアの持続的発展と他者との自由な連帯を通じ、未来を切り拓くパイオニアの育成に努める。

2. 可能性に開かれたカリキュラム
 本学は、教学マネジメントの確立によって不断に教育の改善を行い、一般教育、各学部の専門教育の緊密な連携の下に教育の質保証を行った上で、海外協定校の増加やダブル・ディグリー制の導入による海外留学制度と、国内他大学の単位互換制度などによる国内留学制度を拡充する。あわせて学部・学科の枠にとらわれない多様な学びを支援すること、学生が教養を基礎に自らの可能性を追求し、「予測不能な時代」に柔軟に対応しうる総合的な知性を獲得できるカリキュラムの構築を目指す。

3. 多様性に開かれたキャンパス
 本学は、自然と共生し、自他を尊重する社会の実現に向け、多様性に開かれた入学者選抜制度の実施、す

1. 北海道の知の拠点
 本学は、建学以来、常に北海道とともに歩んできた大学としての使命を果たすべく、新たな基金の創設とこれに基づく各種奨学金制度の拡充、安定した学生生活環境の提供などによって、「教育の機会均等」をさらに推し進める。また、地域連携推進機構を核とした北海道庁・道内市町村・民間企業および他大学との連携と同窓生との連帯の下に、少子高齢化・人口減少をはじめとする地域の直面する課題

4. 活力ある教職員の協働体
 本学は、ビジョン1〜3を達成し、研究・教育機関としての持続的な発展を可能にするために、既存の委員会・事務組織の抜本的な再編成を行うこと、広報・国際交流・学生支援などの機能を強化する。あわせて多様性に開かれた人事を行うとともに、子育て・介護支援をはじめとする教職員の福利厚生制度を拡充する。さらに、公文書を一元的に管理するアーカイブスの設置と相俟って、学長ガバナンスの下での組織の適正かつ効率的な運営を目指す。

Native-Speakerism
 Its Resilience and Undoing
 Jérémie Bouchard
 (人文学部准教授) 他共編著

世界中の言語教育の現場ではいまだネイティブスピーカーの複合的な要因を探究し、ネイティブスピーカーの概念を解きほぐすための概念的および実践的な提案を提案します。

定価 一六、七六五円(税込)

Springer

東京ヴァナキュラー
 モニキュメントなき都市の歴史と記憶
 ジョルダン・サンド著 池田真歩 法学部講師 訳

1970年代以降の東京で、都市に対する「日常性」と「ロカリティ」性とは何かを問い、開いたのかを探った都市論。谷中・根津・千駄木・地蔵原・上野・湯島を事例に解説する。

定価 三、九六〇円(税込)

新曜社

図解国際法 ビジナルテキスト国際法
 加藤信行 法学部教授 植木俊哉 森川幸一 真山全 他編著

毎朝日中友好基金による「国際法分野における日中協力促進」事業の一として、ビジナルテキスト国際法(有斐閣、2017年)を中国語訳として出版された本書。国際法の関連問題を平易に解説し中国語読者に愛読されている。

定価 一、二四〇円(税込)

有斐閣

ビジジュアルテキスト国際法 第2版
 加藤信行 法学部教授 植木俊哉 森川幸一 真山全 他編著

大学で初めて国際法を学ぶ学生のために写真や地図、図表などを豊富に盛り込んだ両書の第2版。初版以降の国際法の進展を取り入れ、特に注目は「レイアウト」を修正し、より見やすくなっている。

定価 九、一四〇円(税込)

中公新書

政界再編 離合集散の30年から何を学ぶか
 山本健太郎 法学部教授 著

1993年の細川非自民連立政権の発足から30年。新進党の興亡、民主政の政権と二分五裂、「第二波」も低く、自公政権の「二強多弱」に陥った。日本政治を動かす力を解き明かし、「政権交代」可能な本政治「表現の道」を示す。

定価 三、三〇〇円(税込)

共同文化社

自治体の行政執行と法治主義
 泰博美 法学部教授 著

北海道庁の条例審査、訴訟の実務経験を踏まえ、紀要等に発表した研究の成果をまとめたもの。実務において金銭的・法的に即いた判断は、研究の場では検討対象となる。評釈を通して、理論と実務の架橋をめざした一冊。

定価 三、三〇〇円(税込)

共同文化社

コロナ禍による経済的変化と対処方策
 流通のあり方を考える

コロナ禍による経済的変化と対処方策
 流石の流通経済学教授 他共著
 濱田武士 経済学部教授 他共著
 コロナ禍がどのような経済的変化を引き起こし、どのような影響を及ぼしたか、それに関して即売市場はどのような対応策を講じているかを論じる。

定価 一、三三〇円(税込)

筑波書房

新型コロナウイルス感染防止対策 まだまだ油断できない! 更なる徹底を



本年4月に発出された緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置は、9月30日をもって全都道府県で解除されました。ワクチン接種が進んでいますが、北海道内でもワクチン接種後の感染、いわゆる「ブレークスルー感染」が確認されており、まだまだ油断はできません。大学や日常生活等において、一人一人が一層の自覚をもち、感染防止対策の更なる徹底をお願いします。新型コロナウイルス感染症についての本学の対応は、適時本学 web サイトでお知らせします。



登校・入構時の注意事項

①体調チェック

自宅を出る前に検温し、平熱であり、なおかつ体調に不安がないことを確認してください。G-PLUS! キャビネット「新型コロナウイルス対策本部」格納の「健康観察シート」を利用して、毎日の健康状態を確認することを推奨します。

②マスク(不織布)を着用してください。

③入構の際には、各施設入り口付近に設置されている消毒液を利用してください。

④手洗いの励行

石けんをつけてしっかりと手を洗ってください。とくに、多くの人が使用するパソコンやプリンターなどを利用した後は必ず手洗いを行ってください。トイレ使用の際も、必ず手を洗ってください。

⑤学内での滞留

授業終了後は用事がない限り長く学内に滞留せず、すみやかに帰宅してください。複数の授業がある場合は、ソーシャルディスタンスの確保に留意してください。

⑥食事

やむを得ず学内で食事をする場合は、生協食堂混雑緩和のため、できるだけ昼食を持参してください。豊平キャンパスの食事場所として、教育会館の旧「コスモス」を開放しています。どちらも混雑しているときには、文化棟ロビーや空き教室を利用してもかまいません。

⑦3つの「密」(密閉空間・密集・密接)の回避

・教室では、授業前/中/後に換気を行います。教室の窓の開閉に協力してください。

・教室が寒い場合もありますので、寒さ対策(上着やひざかけなど)を行ってください。

・密集空間(エレベーターなど)では会話をしないようにしてください。



不織布マスクの着用を推奨するポスター



4号館入口のポスター



4号館入口に設置されたサーモグラフィ

体調不良時

①出席停止

体調不良者(風邪症状や熱がある、強いだるさ、息苦しさ、臭覚・味覚異常がある、など)は登校しないでください。新型コロナウイルス感染者と濃厚接触した場合も登校しないでください(詳細については構内各所の掲示、またホームページの「体調不良時のフロー」、「感染防止のため」(2021年9月)を参照のこと)。

*欠席した授業などについては学生の不利益とならないよう適切な配慮を行いますので、決して無理をして登校せず、科目担当者または所属学部事務室に連絡してください。体温など体調についての記録(「健康観察シート」がG-PLUS! キャビネット「新型コロナウイルス対策本部」に保存してあります)をとり、登校再開後「欠席届」に添付して提出してください。

②学内で体調不良となった時

・大学で風邪症状が出るなど体調不良となった場合はただちに帰宅してください。

・持病など風邪症状以外で体調が悪い場合は、従来通り医務室に相談してください。

・友人などが体調不良になり帰宅できる状態にないときは、医務室(011-841-1161(代表))に電話連絡をして指示に従ってください。

令和3年度卒業証書・学位記授与式

令和3年度卒業証書・学位記授与式は開催の方向で検討中です。詳細は決まり次第、大学ホームページ、G-plus! で連絡します。

2021年度第2学期の授業について

1. 第2学期教務日程

・第2学期: 9月18日(土) ~ 1月24日(月)

・予備日: 1月25・26日

・振替月曜日1月8日

・期末評価実施期間: 1月27日~2月2日

2. 授業形態

2020年度第2学期と同様、

①対面授業が不可欠・重要と判断される科目、ゼミや実験・実習等科目

②ソーシャルディスタンスを確保できる人数(教室収容人員のほぼ3分の1以下)以下の科目について原則として対面授業を実施し、それ以外の科目はオンライン授業を行います。(G-PLUS! 「オンライン授業科目リスト」等で確認、「講義連絡」にも注意するようにお願いします。)

■オンライン授業について

①以下のマニュアルを確認してください。

*「オンライン授業を受講する学生の基礎知識」

*「HGU SOS テクニカル・サポートマニュアル」(2021年度版)

G-PLUS! キャビネット「新型コロナウイルス対策本部」に保存されています。

②対策本部相談窓口(オンライン授業、コロナ対策): onlinedesk@hgu.jp

オンライン授業に関して相談したいことがある場合は、対策本部にメールで相談してください。相談によって不利益を被ることのないよう配慮しますので、相談したい科目名・科目担当者などや相談事項、相談者の学生番号・氏名・メールアドレスを記載してください(無記名のものには対応しません)。回答や対応には時間を要する場合もあると思いますので、余裕をもって相談してください。

■対面授業について

①標準授業時間帯: 授業と授業の間のインターバルを少なくとも20分とれるよう、授業時間を80分以内とします(山鼻開講の実験・実習等の科目はこの限りではない)。

②授業に関する配慮

みなさんの中には、登校できないさまざまな事情を持っている人がいることが考えられます。理由があっても対面授業に出席できない人は、担当教員に連絡してください。不利益を被らないように配慮します(実験・実習等の科目については対応できないこともあります)。担当教員からの指示や対応がなされないことがありましたら、所属学部または対策本部相談窓口(オンライン授業、コロナ対策): onlinedesk@hgu.jp に相談してください。

相談窓口

■学部事務室

・011-841-1161(代表番号)に電話して

「〇〇学部をお願いします」と言ってください。

・メールでの連絡は以下のアドレスへお願いします。

(冬季休業期間(12/26~1/7)は対策本部窓口
onlinedesk@hgu.jpまで連絡してください。)

経済学部: kyomu-za@hgu.jp

経営学部: kyomu-ei@hgu.jp

法学部: sogolaw@hgu.jp

人文学部: jinbun@hgu.jp

工学部: kyomu-ko@hgu.jp

教職課程など各課程・工学部1年次: kyotsu@hgu.jp

■対策本部窓口(オンライン授業、コロナ対策):

※冬季休業期間(12/26~1/7)はこちらまで

onlinedesk@hgu.jp

■大学公式webサイト各種相談窓口:

<https://www.hgu.jp/campuslife/consultation/>

大学HPトップ>メニュー「学生生活」>

サポート体制>相談・支援依頼窓口



新型コロナウイルスワクチン 大学拠点接種(職域接種)完了

8月から9月にかけて豊平キャンパス8号館で行っていた新型コロナウイルスワクチン大学拠点接種(職域接種)が終了した(1回目: 8月30日~9月2日、2回目: 9月27日~9月30日)。本学学生、教職員等約3,300名が2回の接種を完了した。



ワクチン接種会場入口

北海学園学術研究助成事業報告⑨

研究課題

理論および文化の受容と変容とをめぐる複眼的研究

経済学部教授 水野 邦彦

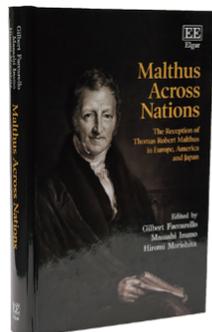


一橋大学大学院社会学研究科単位取得後、日本学術振興会特別研究員、韓国・高麗大学民族文化研究所客員研究員などをへて、一九九八年本学助教

この共同研究においては、一、地、水、海などの自然のイメージと、文化の混濁の表現を分析し、日本ケベック学会の研究誌「ケベック研究」などに

4人の教員が海外調査と文献資料から分析

析を行った。その結果、明治維新に始まるマルサス理論の導入がほぼ人口論の紹介である



Malthus Across Nations The Reception of Thomas Robert Malthus in Europe, America and Japan

は、ロンドンで発行された学術書 Malthus across Nations に収められた。水野は思想や世界観のアジアにおける受容と変容を仏教(Baudha)にそくして

経済学部特別講演会(オンライン) 講師に作家・河崎秋子氏(経済学部OG)



本学卒業生で作家の河崎秋子氏

河崎氏は2002年に大学を卒業後、ニューヨークで綿羊飼育を学んだ。帰国後は、別海にある実家の牧場で羊飼いをしながら執筆活動を続け、2014年『颯風』で三浦綾子文学賞、2019年『肉弾』で第21回大敷春彦賞、2020年『土に墮つ』で第39回新田次郎文学賞など数々の文学賞を受賞。

『北海道の消えた産業』

最後に学生時代を振り返り「あのころは吸い取り紙がなかった。学費がすごかった。学生時代にしか知覚できないものが確かにある。今しかできない、いろいろな経験をしたい」と後輩にメッセージを送った。

人文学部日本文化学科 「孤狼の血LEVEL2」公開記念特別講義

人文学部は日本文化学科の講義「日本映画論」の一環として、7月28日に映画「孤狼の血LEVEL2」公開記念特別講義を実施した(講義映像は、8月20日〜9月20日、YouTubeで公開)。



映画監督の白石和彌氏(左)と原作者で作家の柚月裕子氏

登壇人物の履歴書や時系列を作り、ストーリーにブレや間違いがないかチェックしながら小説を書いていくという柚月氏の話を、常に表現の幅を広げることについて語ってくださった。



法学部教授 山本 健太郎

日本では1990年代以降、首相の権限を強化する制度改革が進んだ。「安倍一強」と称され、長期政権を築いた第二次以降の安倍内閣は、その帰結

一強政治と岸田内閣

逃せない。加えて、総裁在任中に大規模選挙で勝利を重ね、選挙に勝てるリーダーとして自民党議員を従わせる実績を積み重ねた。いわば、制度と党内基盤の双方で、安倍内閣は強かったのである。

未来展望

ある菅内閣が短命に終わった。だが、後を受け継いだ菅内閣はそうではなかった。

菅後継を選ぶ総裁選では岸田文雄氏が勝利した。菅氏と異なる自らの派閥を率いる岸田氏だが、岸田派は党内第五勢力にとどまる。菅氏と異なる自らの派閥を率いる岸田氏だが、岸田派は党内第五勢力にとどまる。

研究室の窓



経営学部教授 関谷 浩行 (専門: 管理会計)

【問題】世界の大学生(大学院生)から人気がなく(嫌われてる?)、必要不可欠だと返屈と思われている科目は何でしょう。

経営改善のための会計利用の視点から



『行政管理会計の基礎と実践』 大西淳也 編著 / 関谷浩行 他共著 同文館出版 2020



『事務長経験者が語る中小病院経営のヒント』 関谷浩行 他共著 公益社団法人全国自治体病院協議会事務部会 中小病院の経営を考える事務プロジェクトチーム 2020

得意であっても会計(簿記)は嫌いだ、という学生は多い。加えて、会計嫌いを量産している原因の一つに、検定試験が関係しているのではないかと私は思っています。特に、日商簿記検定の2級です。信じられないことに日商簿記2級の合格率は、2017年11月試験以降3割に満たない状況が続いています(第157回試験の合格率は8.6%)。なぜ「重箱の隅つつくの助」のような問題を出題しているのでしょうか。会計を普及させようとしている団体

が、自ら会計嫌いを増やしているようにしか見えません。会計数値は人々の行動や意思決定した結果です。会計を使いこなすための肝所は、会計数値の背景にどんな物語があったのかを想像することです。ヒトは測定されると行動を変えます。管理者の方々はヒトの心理に対する理解を深めるとともに、会計数値と現実との突き合わせの2つを重視する必要があります。

私の主な研究テーマは、①インターネットのマネジメンツ、②公営企業の管理会計です。公営企業は上・下水道、病院、交通など住民の福祉の増進に不可欠な事業を行っています。近年では、公的組織にも統合報告が適用される事例が海外で増えています。どのように測定すると現場に望ましい影響を与えられるのか。経営改善のための会計利用という視点から、私は現場を良くするための研究を行っています。

浅羽祭挙行

令和3年度 学校法人北海学園主催による令和3年度浅羽祭が10月22日、本学4号館第3会議室において厳粛に執り行われた。浅羽祭は北海学園創立功労者である浅羽靖先生(1854〜1914)のご命日に行われる慰霊祭。毎年、浅羽先生をはじめ物故された歴代の理事長、学長、校長とともに、この1年間に逝かれた教職員及び学生・生徒のご冥福をお祈りしている。



出席したご遺族および関係者

令和3年度 法学部グローバルセミナーI English-Only Camp

英語しか使えない貴重な4日間の体験実習



(上)札幌・豊平公園でのアクティビティ (下)法学部グローバルセミナーI修了式

今年度の法学部グローバルセミナーI(English-Only Camp)が、9月7日から4日間にわたって実施された。

4日間で語彙力が向上 法学部法律学科4年 井出 惟

予定だったため、準備としてオンライン英会話を行って

不完全な英語でもOK! 法学部1年 成田 李



参加学生たちとニセコから来ていただいた講師の先生方、本学教員との集合写真

このEnglish-Only Campを通して私は自分の中で英語を話すということへのハードルを下げる

自分から動く人がチャンスをつかむことができ、そのチャンスを大きな可能性に変えていくことができるのだと思います。

海外でキャリアを積んでいく方法 第29・30回経営学部グローバル人材育成セミナー(29)(30)



II部写真部 2年ぶりの写真展開催

II部写真部(以下にぶしゅ)は11月4日〜9日までアートのスペース201にて、写真展『三大学合同写真展2021』を開催しました。

建築「ガクナイコンペ」Vol.13 今年で13回目となる「ガクナイコンペ」が10月16日、対面とリモートで開催された。

社会科学 特別講義 「GIS現地調査入門」 教養科目 新規開講!



写真1: リスク班フィールドワークの様子(難得龍神社)

本学では、経済学部・人文学部において「地理情報システム論」(GIS論)を開講し、GISの概念や社会的意義、GISデータ取得・構築方法を教えてきた。

フィールドワークを通じたデータ作成を学ぶ



写真2: Story Mapの一例。写真と地図上のポイントが対応している(人文学部・竹内はるかさん作成)

Webアプリケーションの操作方を教えた。 また、フィールドワークは、大

受講生は、全体のフィールドワーク実施後に個別に追加調査を実施するなど、総じて意欲的であった。一方で、作業・発表時間が不足し、講義時間を拡張する必要も感じた。

M-PRO 最終発表会 最優秀賞と優秀賞



授賞式で、企業の担当者と受賞した学生たち

札幌商工会議所や北海道新聞社が主催する学生による企業の魅力発信イベントM-PROで最終発表大会の10月10日、経営学部佐藤大輔ゼミのチームが最優秀賞と優秀賞を獲得した。

- 最優秀賞: 尾田 歩奈(経営学部2年) 白幡 来幸(経営学部2年) 中川 遥奈(経営学部2年) 優秀賞: 高橋 涼夏(経営学部2年) 田村 淳人(経営学部2年) 新山 奏多(経営学部2年)

『北海道の業界地図』(第二版) 刊行



【北海道の業界地図 2022-2023】 北海道新聞社 編

経営学部佐藤大輔ゼミナール(北海道の業界地図)制作プロジェクトチームで、2019年に北海道新聞社とともに「北海道の業界地図(第一版)」を発売した。

を行う特集記事も掲載。コープさっぽろやよつ葉乳業など、北海道を代表する企業のトップに直接取材を行い、学生目線から見た企業の魅力を聞き出している。

第39回全日本中国語スピーチコンテスト 大間綾美さん 弁論の部で準優勝



授賞式で、弁論の部で準優勝した大間綾美さん

10月9日、「第39回全日本中国語スピーチコンテスト」北海道大会が開催され、人文学部英米文化学科2年の大間綾美さんが【弁論の部】で準優勝した。

「中国語のレベルアップに繋がると考え、スピーチコンテストに参加しました。練習では、慣れない発音や、中国語の長文を読むことに苦労しましたが、本番では楽しんで臨むことができました。」

第70回 十月祭 初のオンライン開催

テーマ「NO FESTIVAL, NO LIFE - NO 密な新しい十月祭!」



10月10日(日)、11日(月)、初のオンライン開催となる第70回北海学園大学十月祭が開催された。各サークルのPR動画や女優の吉川愛さんのトークショー、ミス&ミスターコンテスト2021、抽選会などが行われた。

第70回北海学園大学「十月祭」を、ご覧になった皆様お楽しみいただきたく思います。昨年はコロナウイルスの関係上、無念の開催中止となつてしまいました。今年度は多くの方々の協力を経て開催に至ることが出来ました。

十月祭実行委員会広報部長 吉田 雄斗

たくさんの方のご協力に感謝

硬式野球部 鈴木大和選手(経済学部4年) 巨人から育成1位指名



10月21日、学長挨拶直後の記者会見にて、左から読売ジャイアンツスカウト部主任 柏田貴史氏、同部長 水野雄仁氏、硬式野球部 鈴木大和選手、硬式野球部 島崎圭介監督。

10月11日、東京都内でプロ野球ドラフト会議が行われ、本学硬式野球部の鈴木大和外野手(経済学部経済学科4年)が読売ジャイアンツから育成選手として1位指名を受けた。10月21日には、読売ジャイアンツの水野雄仁スカウト部長、柏田貴史スカウト部主任が本学を訪れ、安酸敏真学長、本学硬式野球部加藤信行部長(法学部教授)、島崎圭介監督に指名の挨拶を行った。

11月7日、陸中海岸グラウンドホテルで開催された「東日本大震災復興支援感謝のつどい」復興10年の歩みを振り返り、復興に強い今後を思い描くことを考える。このつどいにおいて、本学経済学部 濱田 武士 教授が、釜石市の復興に大きく貢献したとして、釜石市長から感謝状が贈られた。

経済学部 濱田 武士 教授 釜石市長から感謝状



野田武則釜石市長(左)と濱田武士教授

釜石市とは東日本大震災の前からお付き合いがありました。まちが壊れ、罹災者や犠牲者が多数出る激甚災害では自治体職員にかかる負担が極めて大きいことを阪神淡路大震災の話を聞いて知っていました。

濱田教授は、震災復興支援活動を通じて、被災地と密に連絡を取りながら現地にも足を運んでいきました。サポートしたいという思いをもち、担当職員と密に連絡を取りながら現地にも足を運んでいきました。サポートしたいという思いをもち、担当職員と密に連絡を取りながら現地にも足を運んでいきました。

ミニオープンキャンパス in 札幌開催

緊急事態宣言に伴い中止された第3回&2部オープンキャンパスの対面型の代替イベントとして、10月9日、16日、23日、30日に豊平キャンパスにて「mini OPEN CAMPUS in 札幌」を開催した(事前申込制、定員制)。新型コロナウイルス感染症防止対策を行って開催。

Table with 3 columns: Date, Morning Session (午前), Afternoon Session (午後), Total (計). Rows include dates 10/9, 10/16, 10/23, 10/30, and a total row.

10月1日から10月29日の期間、オンライン特設ページによるWEB保護者懇談会が実施された。保護者懇談会は、大学と保護者との相互理解を深めることを目的に、例年本学(札幌)と函館、旭川、帯広で開催されているが、今年度は新型コロナウイルスの観点からオンラインでの開催となった。

WEB保護者懇談会開催

令和3年度 防火・防災訓練実施 9月17日、豊平校舎において防火・防災訓練が実施された。豊平校舎の事務職員をはじめ、北幹警備保障、マキ商会(防火・防災設備管理)が訓練に参加。地震ならびに火災を想定して消火訓練や通報の仕方、避難誘導などを学んだ。



消火器の取り扱い方法の指導を受ける職員

山鼻キャンパスにおける火災について 11月3日(水)午前11時30分ごろ、山鼻キャンパス1号館1階東側電気設備より出火し、火災が発生しました。消防隊による消火活動を経て、その後、火は消し止められました。この火災によるけが人等はありません。

2022年度 特別入試速報 11月28日(日)、2022年度の特別選抜を実施。新型コロナウイルス感染症拡大の影響に配慮し、各学部・学科(コース)ごとに来校または在宅での選抜方法で行われる(11月20日時点)。

2021年度 大学院進学説明会 12/4 13:00~14:30 豊平キャンパス6号館3階

Table showing enrollment trends for 2020, 2021, and 2022. Columns include 1st section, 2nd section, total, and previous year ratio.

令和4年度 選抜日程

Table detailing the selection schedule for the 2024 academic year, including exam dates and application periods for various departments.

Table detailing the selection schedule for the 2024 academic year, including exam dates and application periods for various departments.

アセスメントテスト GPS-Academic を実施

本学では1~3年生を対象にアセスメントテスト GPS-Academic を実施しています。GPS-Academic とは社会から強く求められる「問題を解決する能力」について「批判的思考力」「協働的思考力」「創造的思考力」の3つの視点で測定するテストです。